

製品名: C/EBP α (リン酸化 Thr230) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04340**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42,also have 30kDa isform

抗原情報

遺伝子名	CEBPA
別名	CEBPA; CCAAT/enhancer-binding protein alpha; C/EBP alpha
遺伝子 ID	1050.0
SwissProt ID	P49715
免疫原	ヒト C/EBP α のリン酸化部位 (リン酸化 Thr230) 周辺の合成リン酸化ペプチド

背景

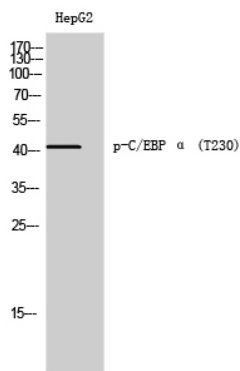
このイントロンを持たない遺伝子は、塩基性ロイシンジッパー (bZIP) ドメインを含む転写因子をコードし、標的遺伝子のプロモーター中の CCAAT モチーフを認識します。コードされたタンパク質は、CCAAT/エンハンサー結合タンパク質 β および γ とのホモ二量

体、およびヘテロ二量体として機能します。このタンパク質の活性は、細胞周期制御および体重恒常性に関与する遺伝子の発現を調節することができます。この遺伝子の変異は、急性骨髄性白血病に関連しています。インフレームの非 AUG (GUG) 開始コドンと AUG 開始コドンを交互に使用することで、異なる長さのタンパク質アイソフォームが生成されます。異なる翻訳開始は、GUG と最初の AUG 開始コドンの間に位置する、アウトオブフレームの上流オープンリーディングフレームによって媒介されます。 [RefSeq 提供、2013 年 12 月]機能: C/EBP は、多くのプロモーターに共通する CCAAT 相同性と、多くのエンハンサーに共通するエンハンスドコア相同性の 2 つの異なるモチーフを認識する DNA 結合タンパク質です。類似性: bZIP ファミリーに属します。類似性: bZIP ファミリーに属します。C/EBP サブファミリーです。類似性: 1 つの bZIP ドメインを含みます。サブユニット: DNA に二量体として結合し、C/EBP ベータおよびガンマと安定なヘテロ二量体を形成します。UBN1 と相互作用します。HBV タンパク質 X と相互作用します。、

研究分野

がんの経路;急性骨髄性白血病;

画像データ



Phospho-C/EBP α (T230) ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウエスタンブロット解析。